



今日のテーマ

「わたしのまちはなぜ小さくなるの？」 ～小学5年生のまちづくり～

今日は、みんなの“町”のことを、いつもより少し先の未来まで考えてみます。
社会の授業でも、自分たちが住んでいる町について学んでいますよね。

この町にはどんな人がいて、どんなお仕事があって、どんなふうに住んでいるのか。

今日はそこからもう一歩すすんで——

「この町の人数がこれからどう変わるのか」「もし人数がへっても、どんな町にできるのか」

そんなお話を、みんなといっしょに考えていきたいと思います。

まちの人数はどうして変わるの？

まちの人数、特に子どもの人数は、日本中のたくさんの町で減っているんです。どうしてでしょうか。



生まれてくる赤ちゃんが少なくなっている

昔とくらべて、生まれてくる赤ちゃんの数がすこしずつ少なくなっています。



大人やお年寄りが多いまま、次の世代が少ない

人が“増えるより減る方が多い”形になっていく。



人数がへる形になっている

時間がたつほど全体の人数が減ってしまう

だから、まちはゆっくり小さくなっていく。だれのせいでもなく、“しくみ”の問題。

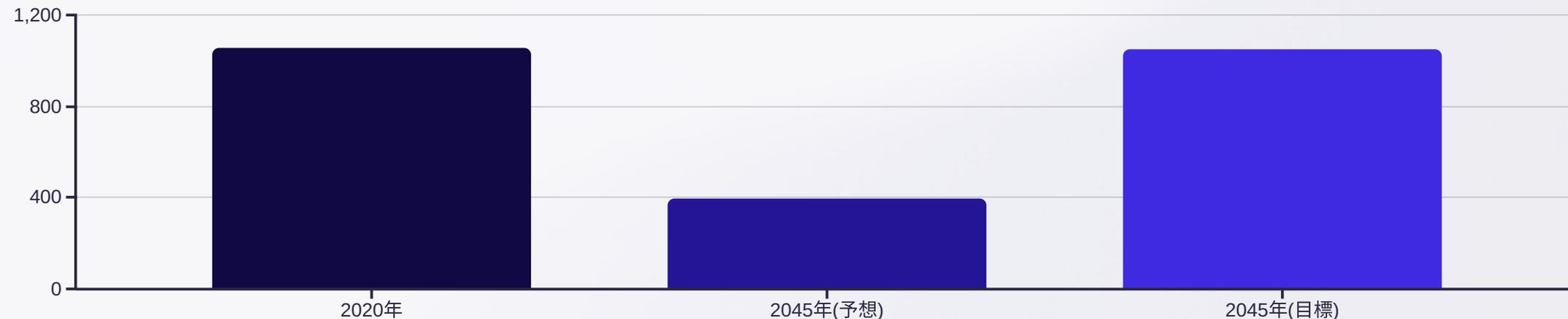
20年後には3人の友達が1人になってしまうかもしれない

2020年には、この地域に**1,055人**の子どもたちがいました。

でも、このままだと、**2045年には397人**になると予想されています。

地域の大人や役場の人たちは、人数がへらないように、いろいろな工夫をしています。

2045年に子どもを1,050人にするという目標をたてて、みんなでがんばっているんですよ。



SIM（しむ）というゲームをやってみよう

01

2枚のカードから1枚を選ぶ

それぞれのカードには、まちのためにできることが書いてあります。

02

みんなで話し合って決める

どのカードを選んだら、まちの人数がふえるかな？考えてみましょう。

03

結果を見してみる

選んだカードによって、人数がどう変わるか、計算してみます。

この計算ゲームをとおして、「がんばれば人数は増えてくれるのか」を確かめてみましょう。さあ、やってみよう！



SIMをして気づいたこと

1

がんばっても、すぐには人数はふえない

まちの人数を増やすには、とても長い時間がかかります。

2

これは「だれかのせい」ではなく「しくみのせい」

お父さんやお母さん、先生や役場の人が変わるわけではありません。社会全体のしくみとして起きていることなんです。

3

すこし悲しい気もちになるのは、とても自然なこと

こういう話を聞いて、悲しくなったり、さみしくなったりするのは、とても自然で、大切な気もちです。

☐ でもね、ここからがスタート。人数がへることを知った上で、わたしたちにできることを考えていきましょう。



それでもあきらめないで

まちの人数がへっても、クラス的人数が少なくなっても、できることや、楽しいことはたくさんあります。

人数が少ないからこそ、一人ひとりをもっと大切にできるかもしれません。みんなで協力する力が強くなるかもしれません。新しいアイデアが生まれるかもしれません。

これから、「人数がへったときに、どんな気持ちで過ごすか」について、いっしょに考えていきましょう。



もし来年、クラス的人数が"半分"になったら？

ちょっと想像してみてください。クラスの中の仲良しの友達を思い出してください。その友達が、来年は別の学校に行っちゃうって言われたら、どうしますか？

さみしくなる？

ちょっどこわい？

ドキドキする？

今できることを探す？

あなたなら、どうしたい？

正解はありません。あなたの気もちが、いちばん大切です。

ここから「7つの気もち（希望）」 のお話

人数がへるとき、人はそれぞれちがう「ねがい」を持つようになります。

これから、7つの気もちを紹介します。どれも正しいし、どれもまちがいじゃありません。どれをえらんでもいいんです。自分で作ってもいいんですよ。

自分がどの気もちに近いか、考えながら聞いてくださいね。



このクラスでさいごまでがんばりたい



こんな気持ち

- 少なくとも、今いる仲間を大切にしたい
- 協力して楽しいクラスにしたい
- みんなで力を合わせれば、できることがたくさんある

「ここに残る」という気持ち

人数が少なくても、今のメンバーで最後までがんばりたい。そう思う人もいます。

このクラスの思い出をのこしたい

こんな気持ち

- アルバムや動画を作りたい
- 来年の子にも伝えたい
- このクラスがあったことを、わすれないようにしたい
- 思い出を大切にしまっておきたい

「記録として残す」という気持ち

クラスがなくなっても、思い出は消えません。形にのこして、ずっと大切にしたいと思う人もいます。



他の学校のクラスと力を合わせてもいい



こんな気持ち

- 人が少ないなら、協力すればいい
- 先生やおとなにまかせても大丈夫
- とんりのクラスと合同でやってもいいよね
- みんなで助け合えば、もっと楽しくなる

「外に託す」という気持ち

自分たちだけでがんばらなくてもいい。他の人たちと協力したり、まかせたりすることも、ひとつの方法です。

希望④

小さいクラスでゆっくりやりたい

こんな気持ち

- 人が少ないほうが落ち着く
- 自分のペースで学べる
- 大きいクラスよりも、小さいクラスが好き
- むりして大きくしなくてもいい

「小さく楽しく生きる」気持ち

小さいことは、わるいことじゃありません。小さいからこそ、できることもあるんです。



友達がたくさんいる学校に引っ越そう



こんな気持ち

- 別のクラスに行っても、このクラスは宝物
- 新しい場所で、新しい友達をつくりたい
- 「前のクラスがあったから今の自分がある」と思える
- 思い出を胸に、新しい一歩を踏み出したい

「離れてもつながる」気持ち

ちがう場所に行っても、心はつながっています。新しいチャレンジも、ひとつの希望です。

むりに変えようとせず、そのままがいい

こんな気持ち

- 無理して増やさなくていい
- 今をそのまま大切にしたい
- 変わらないことにも、価値がある
- あわてず、ゆっくり考えたい

「何もしないことを選ぶ」気持ち

何かをしないことも、ひとつの選択です。今のままでいることを大切にする人もいます。



難しくても、新しい友達が増えるように頑張る



こんな気持ち

- たくさんの方が来たくなるキラキラした学校にする！
- 友達が別の学校に行かないように引き留める！
- むずかしくても、あきらめたくない
- さいごまで、できることをやりたい

「さいごまで抗う（がんばる）」気持ち

むずかしいとわかっているけど、がんばりたい。そう思う人もいます。その気持ちも、とても大切です。

どの気もちが、いちばん自分に近い？



ここに正解はありません。あなたの気もちが大切です。ひとつだけじゃなくて、いくつかの気もちが混ざっていてもいいんですよ。

まとめ



人数がへるのは「しくみ」の問題

だれかが悪いわけではありません。



どう生きるかは自分でえらべる

人数がへっても、楽しみ方はたくさんあります。



希望はたくさんあっていい

7つの希望、どれを選んでもいいんです。

あなたはどんな希望で、未来をえらびたい？

これから、みんなで考えて、話し合っ、自分なりの答えを見つけていきましょう。



このスライドセットのポイント

自分ごととして考えられる

小学生のみなさんが、クラスや友達のことを想像しながら、自分の気持ちと向き合えるようになっています。

安心感を持てる構成

重いテーマでも、「大丈夫だよ」というメッセージが伝わるように工夫しています。

7つの希望が自然に理解できる

それぞれの気持ちを、やさしい言葉で説明しています。

次のワークにつながる

希望を書いて発表するワークショップに、自然に進めます。

このスライドをとおして、みんなが自分の希望を見つけて、未来に向かって一歩を踏み出せますように。